

頁	箇所	誤	正	備考
3	図-1の最上行の左端	舗装の性能	路面の機能	
3	図-1の最上行の2列目	舗装への具体的ニーズ	路面への具体的ニーズ	
3	図-1の最上行の3列目	舗装の要件	路面の要件	
3	図-2の最上行の左端	舗装の性能	路面の機能	
3	図-2の最上行の2列目	舗装への具体的ニーズ	路面への具体的ニーズ	
3	図-2の最上行の3列目	舗装の要件	路面の要件	
12	上から4行目	①プラントで練り落とした混合物を採取する。	①プラントで練り落とした直後の混合物を採取する。	
16	上から1行目	「JIS G4501-2005 機械構造用炭素鋼鋼材」に規定されているS35Cのもの。寸法は長内径26mm、短内径6mm、太さ4mmのもの。	「JIS G3505 軟鋼線材」に規定されているSWRM12のもの。チェーンの太さは5mmとする。	2012/11/16 追加
26	下から5～6行目	～バインダ量が増える～	～バインダ量(アスファルト量)が増える～	
29	上から9行目	バインダの種類	アスファルトの種類	
30	下から15行目	骨材飛散抵抗値	衝撃骨材飛散値	
32	上から10行目	骨材飛散抵抗値	衝撃骨材飛散値	
34	下から2行目	バインダの種類	アスファルトの種類	
43	下から5行目	ねじり骨材飛散値	ねじり骨材飛散率	
45	図-1.3.4	(トレッドパターン)	削除	
45	図-1.3.4	(供試体表面)	削除	
45	表-1.3.2の最下段	用供試体の大きさ	供試体の大きさ	
47	表-1.3.3の試験輪のトレッドパターン	リフラグパターン	ラグパターン	2012/11/16 追加
47	下から7行目	リフラグパターン	ラグパターン	2012/11/16 追加
51	下から1行目 下から2行目	表-1.3.4	表-1.3.5	2012/11/16 追加
51	表-1.3.5のタイヤ旋回タイプBのトレッドパターン	リフラグパターン	ラグパターン	2012/11/16 追加
51	表-1.3.5の試験用タイヤの寸法	直径200×幅50mm	直径410×幅111mm	
75	下から1行目	小数第1位に丸め、面温度低減値	小数第1位に丸め、路面温度低減値	
79	下から7行目	路面温度差 ℃	路面温度差(「℃」を削除)	
80	下から1行目	路面と温度	路面温度	

81	下から2行目	5 c m	50mm	
84	上から12行目	路面温度差 °C	路面温度差 (「°C」を削除)	
112	下から3行目	※単位は統一する。	(※単位は統一する。)	
133	表-2.2.1の上1行目	振り子	振り子	2012/11/16 追加
133	表-2.2.1 備考	有の後ろのスペース	スペースをトル	2012/11/16 追加
135	式-1.8.29	$r_d = \frac{r_s}{r_d} - 1$	$e = \frac{r_s}{r_d} - 1$	
166	上から6行目	重量	質量	2012/11/16 追加
166	表-1.9.6	52,337	1,056	
166	付表-1.9.9b 表中一番下	密粒度アスファルト混合物	粗粒度アスファルト混合物	
178	付表-1.9.2 表中下から3つ目、砂の欄の投入単位	m ³	t	
193	上から12行目	振り子	振り子	
193	表-2.2.1 備考	有の後ろのスペース	スペースをトル	
195	式-2.2.1	$F = -1.790 + 0.068 X_1 - X_2$	$F = -1.790 + 0.068 X_1 - 0.728 X_2$	
197	下から1行目	士	±	
198	図-2.2.4のタイトル	振り子	振り子	
200	上から11行目	～をゆるめ、わずかに指示軸上の～	～をゆるめ、指示軸上の～	
203	図-2.2.7 (グラフ右側)	110F	110° F	
205	表-2.3.1 備考	迅速かつ、狭い～	迅速かつ狭い～	
214	図-2.4.1	凡例の意味不明	意味のわかるようにする	
214	図-2.4.1 図の引用文献	図-2.4.1 目地の段差と歩きやすさの関係1)	図-2.4.1 目地の段差と歩きやすさの関係3)	
214	図-2.4.1 図中の凡例(間違い:6個あり)	1 L B	I L B	
223	下から6行目	単位でまとめ、	単位でまるめ、	
225	図-2.5.4	回帰式の桁が多すぎる	有効桁数までとする	2012/11/16 追加
230	下から1行目	ウェス	エを全角にする	
232	上から11行目, 12行目, 21行目	流下平均時間	平均流下時間	2012/11/16 追加